



英國會社類編

條例上

卷之二

1584





414  
A2774



大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

英國會社類編六之一 條例上

大藏少丞從六位土山盛有

提督 勸業寮九等出仕前田利器  
校正 大藏省十一等出仕岩下敏之

合譯

商社其他諸會社ノ創立方法并其規則及ヒ鎖店一件ニ於ケル  
條例千八百六十二年第八月七日

凡ソ諸法則ノ商社其他諸會社ノ創立方法并其規則及ヒ鎖店一  
件ニ關係セルモノハ須カラク斟酌改正スルヲ以テ便利必用ナ  
リトスルガ故ニ今其條々ヲ制定施行スルヲ左ノ如シ

○緒言

第一條 何事ニ依ラズ凡ソ此條例ヲ引用スルニハ唯之ヲ千八  
百六十二年商社條例ト稱スルヲ得ベシ

第二條 此條例ハ千八百六十二年十一月二日ニ至ル迄ハ之ヲ

條例ノ施行  
始メ

短畧ノ稱呼

大藏省



請負商社ノ  
解明用法

一定ノ人数ヲ  
超ハルシコト  
アルヲ禁ス

施行セズ此年月日以後ヲ以テ此條例ノ施行始メト為スベシ  
但シ此後即チ此條例ノ施行ヲ布告シタル日ヨリ十一月二日此條例ノ施行ノ時迄ノ時間ヲ指ス  
ニテ急ニ施行スル所ノ條例ハ此限ニ非ス

第三條 此條例ノ旨趣ニ於テハ凡ソ商社ノ請負事業ヲ營ムモ  
ノハ假令ヒ他ノ商業一ニヲ兼ルトモ單ニ之ヲ請負商社ニシ

ケルハ假令ヒ他ノ商業一ニヲ兼ルトモ單ニ之ヲ請負商社ニシ  
ケルハ假令ヒ他ノ商業一ニヲ兼ルトモ單ニ之ヲ請負商社ニシ

第四條 此條例施行始メノ後ニ於テ凡ソ銀行營業ノ為メ十人  
以上成立ツ所ノコムベニシ。商社アツクシエリシヨシ會社ノ

ナルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

ナルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

ナルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

ナルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

ナルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

ナルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

院條例ヲ奉シ又ハレタリス、パテント首卷ニ詳ラカナシ

ヲ創立スルモノハ此限ニ非ザルベシ且又此條例施行始メノ

後凡ソ銀行外ノ諸商業ヲ營ニ因テ以テ其利益ヲ收ムル為メ

二十人以上成立ツ所ノコムベニシ。アツクシエリシヨシ會社ノ

ルシツプ組又ハ仲間ノ義ニシテ義ヲ首卷ニ詳ラカナシ以上三

モノエモセヨ何レモ所謂コムベニシノ名號ヲ以テ此條例ヲ

遵奉シテ記録ニ入ルニ非ザレバ之ヲ創立スルコトヲ得ス若夫

レ他ノ議院條例ヲ奉シ又ハレタリス、パテント首卷ニ詳ラカナシ

ヲ創立スルモノ并一種ノ商社即チ錫坑局ノ管轄原書局以下

ヤ國テボンオスタンナレクニ作ル蓋シズル錫坑局ノ管轄原書局以下

設ケテ錫坑ノ管轄ヲ義ニシテ即チ此例ニ於テ此管轄ニ屬スル

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ

業ヲ營ムモノハ此限ニ非ザルベシ



第五條 此條例ハ事柄ニ依リ分ツテ九章トスルヲ左ノ如シ

第一章 此條例ヲ遵奉スル商社其他諸會社ノ結構體裁并其創立體裁ニ就テ

第二章 此條例ヲ遵奉スル商社其他諸會社ノ資本ノ分割并社負ノ負責ニ就テ

詳ラカニ就テ

第三章 此條例ヲ遵奉スル商社其他諸會社ノ取扱方ニ就テ

第四章 此條例ヲ遵奉スル商社其他諸會社ノ鎖店ニ就テ

第五章 記録役所ニ就テ

第六章 「ポイント、ストック、コムベニース、アクト」諸合本商社條例ノ義ニ就テ

解本章ニ詳ラカナリヲ遵奉シテ記録ニ入りタル商社ノ此條例ニ於ケル適用ニ就テ

第七章 此條例ヲ遵奉シテ記録ニ入ルベキ商社ニ就テ

第八章 「オレ、スタード、コムベニース」記録ニ入ラザル商社ノ義ニ就テ

別商社ノ稱ヲカナリ解ノ此條例ニ於ケル適用ニ就テ

第九章 此條例ノ取消并一時施設ノ條件ニ就テ

◎第一章 此條例ヲ遵奉スル商社其他諸會社ノ結構方法并其創立體裁

○結社證書 「モラエンダム、オフ」

第六條 何人タリトモ凡ソ法則ニ觸レガレ事業ヲ營ム為メ七

人以上會聚結合シタル人々各々其姓名ヲ結社證書ニ記入シ併セテ其記録ニ入ルニ付キ此條例中要求セル所ノ然ルベキ

箇條ヲ遵守スルニ於テハ其負責ニ有限無限ノ論トス一社ヲ

創立シテ公立商社 「第一種、別商社ノ稱ヲ参考スベシ」ノ一ニ列

ナルヲ得ベシ

第七條 凡ソ此條例ヲ遵奉シテ創立シタル商社ニ於ケル社員

商社創立ノ模範

社員ノ負責ニ  
定限ヲ立ツル



ノ負書ハ其結社證書ニ從ヒ之レガ定限ヲ立テ人々所持シタル株式（資本利益ノ部分又ハ分前ノ義ニシテ更ニ轉シテ之ヲ）未クハ株式（一定ノ字譯ヲ下スベカ直チニ原語ヲ用ユルモ）觀者察セヨリニ就テ未濟金高（若シ之レ有ラバノ三ニ止マルモ）ノトスル力（即チ下支株式左無クバ然ルベキ金高即チ社員銘）々結社證書上ニ於テ擔任スベキ所ニシテ到底該社ノ鎖店ニ際シ其消債資用（返辨ノ用ニ供スベキモノ）ケノモノヲ合力出金スルモノトスルトモ（即チ下支保證適宜）次第タルベシ

第ニ條 凡ソ商社其社負ノ負責ニ定限ヲ立テ唯其所持シタル株式ニ就テノ未濟金高ノ三ニ止マルトノ原則（即チ下支保證適宜）ヲ以テ之ヲ創立シ即チ以テ稱シテ（即チ下支保證適宜）ノ商社（即チ下支保證適宜）ノ觀覽（即チ下支保證適宜）便テス（即チ下支保證適宜）○此外ニ種ノ商社（即チ下支保證適宜）ノ下支保證適宜

リミッタドバ、ガアレ、ンチ、トスルモノハ其結社證書ニ左ノ件々ヲ掲載スベシ

第一 企テタル商社ノ名號并其下ニ「リミッタド」（即チ上ニ）意ヲ標スル所（即チ上ニ）ノ文字

第二 商社ノ記録所ヲ置クベキ場所英、露、愛三國ノ間何レノ部ニ屬スル地方

第三 商社ヲ創立スル所以ノ目的

第四 社負ノ負責定限アル所以ノ説明

第五 商社記録ニ入ルニ付テノ資本金高及ヒ之ヲ株式ニ分割シタル所ノ一定額數

但シ左ノ規則ニ準據スベシ

第一 記名者（一ツ一定稱呼アラバ、未タ社負等ノ如キ帳簿ニ引續入スルモノ金ナリ以テ其稱シテ入金者トキ）



不レモ一赤ハ一株以下ヲ引請クベカラザル事  
第二 結社證書ニ載スル記名者ハ各姓名ノ上ニ其  
引請ケタル株數ヲ掲載スベキ事

第九條 凡ソ商社其社員ノ負責ニ定限ヲ立テ然ルベキ金高即  
チ銘々擔任スベキ所ニシテ到底該社ノ鎖店ニ際シ其消債資  
用ニ充ツベキ丈ケノモノヲ合力出金スルトノ原則ニ據テ以  
テ之ヲ創立シ即チ以後稱シテ「コムペニ」リミテッド、バイン、ガア  
レンチ「一種ノ商社即チ保  
トスルモノハ其結社證書ニ左ノ  
件々ヲ掲載スベシ

第一 企テタル商社ノ名號并其下ニ「リミテッド」ノ文字  
第二 商社ノ記録所ヲ置クベキ場所英、蘇、愛三國ノ間何レ  
ノ部ニ属スル地方

第三 商社ヲ創立スル所以ノ目的

第四 各ノ負ノルモノ該社ノ鎖店ニ當テ其入社中ハ勿論  
爾後一箇年間ハ該社ノ負債其人ノ脱社以前ニ取組ミタ  
ルモノ、償却方并鎖店ニ就テノ訴訟其他諸雜費ヲ仕拂  
フ為メ且ツハ合力者ハ社負ノ別稱ニシテ「即チ記名者又  
ニ詳ラ相互ニ其権理ヲ修整スル為メ然ルベキ金額ヲ要  
求セラレ苟モ一定ノ額數於テ掲載セル定額ニテ超過セザ  
ルニ於テハ都テ合力出金シ以テ該社ノ消債費用ニ充ツ  
ベシトノ旨趣ヲ於ナル説明

第十條 若夫レ商社其社員ノ負責ニ定限ナル無キトノ原則  
ニ據テ以テ之ヲ創立シ即チ以後稱シテ「オンリミテッド、コムペニ  
」無限商社ノ義即チトスルモノハ其結社證書ニ左ノ件々ヲ掲  
載スベシ

第一 企テタル商社ノ名號



結社證書ノ  
印紙手記姓名  
并其効用

第二 商社ノ記録所ヲ置クベキ場所英蘇愛三國ノ間何レ  
ノ部ニ属スル地方

第三 商社ヲ創立スル所以ノ目的

第十一條 結社證書ハ印紙トシテ貼用スベシ而シテ其姓名者ハ少ナク  
以テ此稱ヲ同様ノ印紙ヲ貼用スベシ而シテ其姓名者ハ少ナク  
トモ一證人ノ眼前ニ於テ併セテ其保證ヲ受ケ以テ各々其姓名  
名ヲ手記シタルモノタルベシ  
姓名者ヲ手記スルハ彼國ノ慣用  
ルノ常法ニ係リ而シテ記名調印  
而如此キ保證物トシテ英蘇愛何レノ  
國ニ於テモ充分ノ保證物タルベシ  
○如此キシテ記録ニ入り  
タル上ハ此證書該社ヲ制取スルハ勿論率ヒテ其社負ニ及ビ  
恰モ其銘々記名調印セシモノ、如クナルノミナラズ既ニ此  
證書ニ記載アリテ所ノ如ク社負當人其他相續人エキセキ  
トル。死者ニ遺言シテ家産處アドニスストリートル相續人  
トル。分等ヲ遺言シテ家産處アドニスストリートル相續人  
トル。分等ヲ遺言シテ家産處アドニスストリートル相續人

或ル商社結社  
證書ヲ變更  
スルノ権力

キセキトト無キ家産分等ヲ取扱ハシタルモノ、間ニ  
ムル為ノ空ヨリ然ルベキ人ヲ命任シタルモノ  
在テ一種ノ條約ヲ為シ到底右證書ノ箇條ト此條例ノ旨趣ト  
ヲ固守遵奉スルコトニ注意スベシトノ意タルニ至テ極マルモ  
タルベシ

第十二條 株式有限商社タルモノ其結社證書中ノ箇條ヲ變通  
改正スルニハ最初組立テタル所ノ規則ニ於テ此事ヲ付與セ  
ラレタル箇條ニ據ルカ又ハ下條以下ニ掲ケル方法ヲ以テ決  
定シタル社中ノ格段決議ニ依リ其箇條ヲ變更セシモノニ據ルカニ於テハ之レニ從  
事スルコトヲ得ベシ而シテ其事ハ即チ其資本ヲ増殖スルニ該社  
ノ便宜ナリト思考スル高ノ新株ヲ發行スルカ又ハ在來ノ株  
式ヲ混和合併シテ更ニ之ヲ大ナルモノニ分割スルカ又或ハ  
拂濟ニニナリタル株式ヲ變化シテ更ニ「ストック」商社資本金ト  
為ス等ノ舉ニ從事スル是レナリ但シ茲ニ掲ゲシ事件ト次條

六 載 省



商社其社籍ヲ  
改ムルノ権力

ニ掲ゲル改號一州トノ外ハ如何ナル商社ニ於テモ結社證  
書ノ箇條ヲ變更スルヲ得ザルベシ

第十三條

此條例ヲ遵奉スル商社其社籍ヲ改ムルニハ下ニ掲

ケル方法ヲ以テ決定シタル社中ノ格段決議ニホリド、オ、ツ

レド彼國ノ商社事務司官卷緒言ノ書記官又ハ副書記官ノ自

筆ヲ以テ保證シタル承認ヲ得テ然後之レニ從事スルヲ得

ベシ而メ斯ク社籍ヲ改メタルニ於テハ記録官タルモノハ其

記録中ノ舊社籍ヲ新社籍ニ書改メ更ニ改號ノ次第ヲ表記シ

ル立社承認狀ヲ下渡スベシ併シ斯ク社籍ヲ改ムルトモ該

社ノ權理責任等ニ於テ更ニ變換スルヲアル無ク又凡ソ公裁

上該社ノ原告被告トナルニ當テ其體制ニ在テモ別ニ抵觸ス

ルヲアル無シ而メ凡ソ訴訟ノ取扱ニ於テ若シ其新籍ヲ以テ

始終スルヲ其舊號ヲ以テ之ヲ始メタルモ其籍之ヲ以テ

其終リヲ爲スト同シク彼此聊差別ヲルヲ無シ

○結社條款スリキエリス原書注ニ結社條款ハ常ニ結

社證書ノ差配ニ在ルモノトス故ニ彼此相差異スル片

ハ證書ヲ主トシ條款ハ法ノ取ラザル所トス

第十四條

保證有限商社并無限商社ノ記録ノ入ルニ當テハ其

結社證書ニ結社條款ヲ副ヘ以テ一同差出スベシ而メ此條款

ハ其結社證書ニ記名シタル人々便利ナリト思考スル規則ヲ

記載シ併セテ之レニ其姓名ヲ手記シタルモノタルベシ株式

有限商社ノ如キモ亦右兩種商社ニ準則シ以テ記録ニ入テ可

ナリ○此條款ニハ第一第二ヲ以テ箇條ヲ分テ之ヲ説明スベ

シ但シ其箇條ニハ第一見出書其他ニ在ル符号ニ即チ英國法律

出テ便ニ分テ以テ參觀探印ノ目錄中ニ掲ケタル箇條ヲ悉

皆又ハ若干ヲ採用レテ可ナリ又此兩種商社ノ内ニ株式ニ

結社條款一掲載  
スベキ諸規則



①印目錄ノ適用

分割シタル資本金高ナル高社ニ於テハ須カラク其記録ニ入  
ルベキ資本金高ヲ掲載スベシ若又兩種會社ノ内ニテ株式ニ  
分割シタル資本無キモノハ須カラク其記録ニ入ルベ  
キ社員ノ人数ヲ掲載スベシ是レ皆記録官ヲシテ之レガ記録  
料ヲ取極ムルニ便ナラシムル為メナリ○此兩種高社ノ内ニ  
テ株式ニ分割シタル資本金額アルモノハ其記名者タルモノ  
少ナクトモ各一株宛ヲ引請ケ且結社證書中ニ在ル姓名ノ  
上ニ右ノ引請株數ヲ掲載スベシ

第十五條

株式有限高社若シ其結社證書ニ結社條款ヲ副ヘ  
ハ又ハ之ヲ副ヘタレドモ其條款タル第一見出①印目錄中  
ニ在ル所ノ箇條ヲ削除改正セザルカニ於テハ則チ前條ノ箇  
條即チ第一見出①印苟モ適用スルニ堪ヘタル文ケノモノヲ  
以テ此社ノ規則ト見做ス可恰モ右等規則現ニ自餘高社ノ結

結社條款ノ印紙手記姓名并其効用

社條款ニ於テ之ヲ挿記シ因テ以テ正シク記録ニ入りタルモ  
ノ、如クナルベシ

第十六條

結社條款ハ之ヲ上梓シテ「ド」同様ノ印紙ヲ貼用ス  
ル而シテ其記名者ハ少ナクトモ一證人ノ眼前ニ於テ併セテ  
其保證ヲ受テ以テ各々其姓名ヲ手記シタルモノタルベシ而  
シテ此證據物ハ英、蘇、愛、何レノ國ニ於テモ充分ノ證據物タルベ  
シ○如此クシテ記録ニ入りタル上ハ此條款該社ヲ制取スル  
ハ勿論率ヒテ其社員ニ及ビ恰モ其銘々記名調印セシモノ、  
如クナルノミナラズ斯ク此條款ニ記載セシ如ク即チ社員當  
人其他相續人エキセキトシテアドミニストレータルモノ  
ノ、間ニ在テ一種ノ條約ヲ爲シ到底右條款中ノ箇條ト此條  
例ノ旨趣トヲ固守遵奉スルヲ仕遂クルノ意タルニ至テ極  
マルベシ而シテ何等ノ金額タリトモ凡ソ其社員是等規則ニ遵

裁省



①印目録ニ掲  
ケタル記録料  
ニ付テノ記録

ガヒ以テ該社ハ拂フベキモノハ都テ社負該社ハ對シタル負債ト見做スベシ而シテ英愛兩國ニ於テハ特トニ此負債ヲ目シテ「スペイン」リチ「ド」格別ナル負債ノ義ニシテノ種類ト為スベシ

○普通ノ條件ニテラル

第十七條 結社證書并結社條款(若シ之レ有ラバ)ハ須カラク下  
第十四條ニ記載セル合本商社ノ記録官ハ送達シ之ヲシテ受領記録セシムベシ而シテ其節ハ凡ツ商社ノ其資本ヲ株式ニ分シタルモノナレバ諸件ヲ掲載セル第一見出①印目録中ニ在ル種々ノ記録料又ハ「ボード」オフ「ツレド」ヨリ時々差圖セル夫レヨリ以下ノ料金ヲ此役所ハ納ムベシ若又商社ノ株式ニ分割シタル資本無キモノハ第一見出①印目録中ニ在ル種々ノ記録料又ハ「ボード」オフ「ツレド」ヨリ時々差圖セル夫レヨリ

記録ノ効用

以下ノ料金ヲ此役所ハ納ムベシ而シテ此條例ニ遵ヒ前斷記録役所ハ納メタル記録料ハ都テ「ハ」マキ「エ」キ「ス」セ「カ」ル「ト」シテ「下」ノ「收」入「税」務「局」ニ「送」ル「ベ」シ「ト」シ「テ」英「王」ノ「給」ノ「收」領「ニ」歸「シ」テ「隨」テ「之」ノ「公」司「レ」ジ「ト」シ「テ」「オ」フ「、」「デ」「、」「エ」「、」「イ」「、」「ラ」「、」「ド」「、」「キ」「、」「ン」「、」「グ」  
オ「フ」  
詳「ラ」カ「ナ」リ「ノ」混「合」積「金」ト「云」フ「ノ」義「ニ」シ「テ」蓋「シ」英「國」一「種」ノ「經」  
費「積」金「即」チ「輸」入「税」  
ノ「勘」定「ニ」組「込」ム「モノ」タリ  
第十八條 結社證書并結社條款(此條例ノ要求又ハ該社ノ好ニ因テ此條款ヲ副ヘタルニセヨ)ヲ以テ記録ニ入ラントスル  
中ハ記録官タルモノハ此社ノ法則通り創立セラル旨  
ヲ保證シタル手筆ノ承認状ヲ下渡スベシ尤モ有限商社ナレバ其旨ヲモ一同記載スベシ然ル上ハ元來結社證書ニ在ル記名者ヲ始メ其後續ノ此社負トナルモノニ至ル迄都テ混一結



證書ノ旨ノ  
馬ハ各社員ニ  
與スベシ

合シ此證書ニ載セル社號ニテ宛然一人ノ身ト成リ即時ヨ  
リ公立商社ノ職務ヲ舉グルコトヲ得且ツ事業ヲ永續シ社印ヲ  
所用シ及ヒ地面ヲ所持スルコトヲ得ベシ但シ該社鎖店ノ時ニ  
際シテハ下<sup>管</sup>三<sup>條</sup>揭示セル如ク其消債費用ニ向ヒ其負責アル各  
社員一々之レニ任セザルベカラス且ツ凡ソ記録役所ヨリ下  
渡シタル立社承認狀ハ記録一件ニ付キ全ク此條例ノ要求セ  
ル所ヲ遵守シ毫モ其旨趣ニ乖戾セザルノ正確證據原書ヨリ  
一フ、イザ<sup>ナ</sup>デニスニ作ル蓋シ法律語ノ一ニシテ凡ソ事物ノ實  
タル真正確實モ疑難説明等ヲ煩ハサバ<sup>ル</sup>モノヲ云フ下支  
證據ト<sup>ア</sup>、相對スルモイザ<sup>ナ</sup>デニス<sup>ス</sup>即チ豫タルベシ  
第十九條 結社證書并結社條款(若シ之<sup>レ</sup>副<sup>ハ</sup>タルナラバ)ノ寫  
ハ各社員ノ要需次第一本ニ付キ一<sup>シ</sup>ルリシ<sup>ク</sup>大抵銀貨量名  
當錢餘ニ又ハ<sup>該</sup>商社ノ規定セル夫レヨリ以下ノ價ニテ之ヲ付與  
ス<sup>レ</sup>キ<sup>ノ</sup>トスベシ<sup>ル</sup>商社此箇條ヲ守ラズシテ若シ右證書

原書ニテアルト  
ニルル

高社同號  
禁

并條款(若シ之<sup>レ</sup>有<sup>ラ</sup>バ)ノ寫ヲ社員ニ付與スルコトヲ怠慢スル  
并於<sup>テ</sup>ハ<sup>此</sup>商社ノ每犯一磅<sup>英</sup>ノ金貨量名大抵我四<sup>ニ</sup>過<sup>キ</sup>ハ  
ル罰金ヲ納ムベシ  
第二十條 凡ソ商社其既ニ記録ニ入りタル在來商社ト同號ハ  
勿論之レニ紛ハシキ社號ヲ以テ記録ニ入ルコトヲ得ズ但シ在  
來商社方甘ニ分散ニ垂ントレ併セテ記録官ノ要求セル手續  
ニ依リ此<sup>ノ</sup>社<sup>ノ</sup>承諾シタル證據ヲ立ツルモノハ此限ニ<sup>非</sup>ザル  
ベシ若又或ル商社不注意等ニテ前<sup>條</sup>在來商社ノ承諾ヲ得ズ  
シテ同號ハ勿論紛ハシキ社號ヲ以テ記録ニ入りタルニ於テ  
ハ此商社<sup>ノ</sup>即<sup>チ</sup>後<sup>ニ</sup>立<sup>テ</sup>須<sup>カ</sup>ラ<sup>ク</sup>記録官ノ承認ヲ得テ直<sup>チ</sup>ニ其社號ヲ  
改ムベシ而メ斯ク改號ヲ<sup>做</sup>セシ上ハ記録官タルモノハ其記  
録中ノ舊社號ヲ新社號ニ書改メ更ニ改號ノ次第ヲ表記シタ  
ル立社承認狀ヲ下<sup>渡</sup>スベシ併シ斯ク社號ヲ改ルトモ該社ノ

裁  
省



或ル商社地面ヲ  
所持スルノ禁

權利責任等ニ於テ更ニ變換スルコトアル無ク又凡ソ公裁上  
該社ノ原告被告トナルニ當テ其體制ニ在テモ別ニ抵觸スル  
コトアル無ク又凡ソ訴訟ノ取扱ニ於テ若シ其新號ヲ以テ始終  
スルコト猶才其舊號ヲ以テ之ヲ始メタルモノ、之ヲ以テ其終  
リヲ爲スト同シク彼此聊カ差別アルコト無シ

第二十一條 凡ソ商社ノ全ク技藝、アー學術、サイヤ神教、リ慈

惠、チヤリ其他類似ノ事業ヲ興隆スル爲メニ之ヲ創立シ曾テ利

潤ヲ商社又ハ其社員銘々ニ收獲スルヲ以テ目的トセザルモ

ハ、ハボード、オフ、ツレツドノ承認無ケレバニ、エーカ止、英抵、我名

餘トハ、ハ其書記官又ハ副書記官ノ自筆セル免許狀、原書、ライセ

ニ詳テ、ハカナリヲ與ヘ然ルベキ規約ニ依リ且ツ其至當ナリト

思考スル所ノ地面若干ヲ商社ニ於テ所持スルコトヲ得セシム

ルコトアルベシ

◎第二章 此條例ヲ遵奉スル商社其他諸會社ノ資本ノ分割并

社負ノ負責

○資本ノ分割 シチ、オス、ツカリ、ビエ、トレ、ショ

第二十二條 此條例ヲ遵奉スル商社其社員所持ノ株式及ヒ其

他ノ利益ハ其社ノ規則中ニ掲ケタル然ルベキ方法ニ依テ之

ヲ授受賣買スルコトヲ得ルガ故ニ是レ所謂動産、エス、レト、ナル、ニ

シテ不動産、スレ、ヤル、トエ、タラ、ザル、ベレ、而メ、商社、ノ其、資本、ヲ株式

ニ分割シタルモノ、場合ニ於テハ、毎株式ニ固有ノ番號ヲ附

シ以テ之ヲ區分スルモノトスベシ

第二十三條 此條例ヲ遵奉スル商社其結社證書ニ在ル記名者

ハ即チ、此社ノ社負タルコトヲ同意シテ斯ク記名シタルモノト

見做スリ勿論ナル、シ而メ、此社負録ニ入ルニ於テハ、各々社

商社ニ於ケル  
利益ノ性質

所謂社負ノ  
字義







社員録

負ノ場ヲ以テ下第五條ニ掲載セル社員録ニ其姓名ヲ登記ス  
ベシ。其他何人タ月トモ爾後此社ノ社員タルコトヲ同意シ且ツ  
其姓名ヲ社員録ニ登記シタルモノハ亦同シク此社ノ社員ト  
見做スリ勿論ナルベシ

第二十四條

此條例ヲ遵奉スル商社ノ社員死去セルモノ若シ  
ヲ以テ株式又ハ其他ノ利益ヲ他人ノ賣却譲與スル  
等ノ事アル片ハ假令ハ斯名代人社員ニ非ズト雖モ其賣却譲與  
時真ノ社員ニテアリシ如クナルベシ

第二十五條

此條例ヲ遵奉スル諸商社ハ社員録一二冊ヲ具備  
シ以テ左ノ要件ヲ登記スベシ

第一

各社員ノ姓名住所職業若シ之レ有ラバ但シ資本ヲ  
株式ニ分割シタル商社ナレバ各社員所持株式ニ番號

ヲ以テ之ヲ區別シ及ヒ其入金濟ト未濟トノ金高ヲ記入  
シタル所ノ明細事件

第二

社員ノラレタル片ノ年月日

第三

社員ヲ停之タル片ノ年月日

而ノ商社若シ此箇條ヲ遵守スルコトヲ怠慢スル片ハ該社ハ其  
怠慢ノ間一日ニ付キ五磅ニ踰ヘザル罰金ヲ納ムベシ且ツ該  
社ノ取締役差配人故ラニ怠慢セシメ又ハ之ヲ見逃スコトアラ  
ハ是又前同様ノ罰金タル

第二十六條

商社ノ此條例ヲ遵奉シ其資本ヲ株式ニ分割シタ  
ルモノハ毎年少ナクトモ一度總社員ノ名簿ヲ製スベシ但シ  
定式總會一年一度ナル片ハ其總會ノ後十四日目ニ於テ若  
又總會一年二三度及ブ片ハ其第一次ノ會後十四日目ニ於

社員名簿

ボルツナルレブレ  
セニテチノワニ  
ハ等

六  
裁  
省



テ之ヲ製スベシ而シテ此名簿ニハ其社員ノ姓名住所職業并各  
社員ノ所持セル株式ノ番號ヲ記載シ併セテ左ノ要件ヲ揭示  
シタル略記ヲ附スベシ

第一 該社ノ資本金高并分割シタル所ノ株數

第二 立社ノ時ヨリ此略記製定ノ當日ニ至ル迄引續ケタ  
ル所ノ株數

第三 各株式ニ於ケル呼賦金併首卷第三十三ノ額數

第四 收納呼賦金ノ總高

第五 未濟呼賦金ノ總高

第六 沒收株式ノ總高

第七 前年名簿ヲ製セシ以後脱社シタル社員ノ姓名住所

職業并其者ノ所持シタル株式ノ番號

右ノ社員名簿并略記ハ該社ノ此記載中ニ於テ部分ヲ分テ以

テ之ヲ區別シ且ツ此箇條ニ揭示セル定式總會ノ十四日目ヨ  
リ日數七日以内ニ之ヲ成就スベシ而シテ此記載ノ一通ハ直チ  
ニ合本商社ノ記録役所ヘ送達スベシ

第二十七條 此條例ヲ遵奉スル商社ノ其資本ヲ株式ニ分割シ

タルモノ其社員名簿并略記ヲ規則通り記録役所ニ送達スル

トテ怠慢スルハ該社其怠慢ノ間一日ニ付キ五磅ニ踰ヘガ

ル罰金ヲ納ムベシ而シテ其社ノ頭取及差配人等故ラニ之ヲ

怠慢セシメ又ハ之ヲ見逃スコアラバ是又前同様ノ罰金タル

ベシ

第二十八條 此條例ヲ遵奉スル商社ノ其資本ヲ株式ニ分割シ

タルモノ若シ在来ノ株式ヲ混合シテ更ニ大ナル株式ニ

分割シ又ハ資本ノ内若干部ヲ變換シテ更ニストック額定名

ト為スハ右ノ旨趣與未ク一々詳記シ以テ合本商社ノ記録

社員名簿等ノ  
記録役所へ送達  
スルハ  
合本商社其他  
ノ罰金

商社資本ヲ混  
合シテストック  
ト為スニ付テノ  
申達

職  
省







人々ハ一「リ」ルリシ又ハ總會ニテ取極メタル夫レヨリ以下ノ  
見料ヲ拂ハシメ以テ檢閲ニ從事セシムベシ且ツ社員并其他  
ノ人々孰レモ百字ニ付キ六「ペ」ン<sup>英ノ銅貨量名我宛</sup>リノ謝  
料ヲ納ムルニ於テハ社員録ノ全部又ハ若干部分ノ寫又或ハ  
前條掲載セシ社員名簿并略記ノ寫ヲ購求スルヲ得ベシ若  
シ該社此檢閲又ハ此寫ノ付與ヲ拒ムルハ其度毎トニ二磅以  
下ノ罰金ヲ拂ヒ右拒ミシ間一日ニ付キ二磅ニ踰ヘザル罰金  
ヲ納ムベシ若又該社ノ頭取及ヒ差配人等故ラニ之ヲ拒カレ  
ト又ハ之ヲ見逃ス「ア」ラハ是又前同様ノ罰金タルベシ而タ  
英愛ニテ記錄ニ入りタル高社ナレバ上文ニ記セタル罰金ヲ  
出サシメタル上ニ裁判所出頭ノ判理官<sup>原書「ジョ」ツ「ヂ」シ「ツ」チ「ン」ダ「イ」</sup>  
其事務ヲ聽決スルベキ裁判所<sup>シ「チ」エ「ン」バ「」ニ「作」ル「蓋」シ</sup>種ノ出體裁稱呼ナリヨリモ<sup>其</sup>命令  
ヲ下シ急ニ此記錄所ヲ檢査セシムル「ア」ルベシ但シ錫坑局

社員録ノ檢  
閱ヲ停止ス  
ル制限

資本并社員  
ノ増加ハ記  
録後所へ申  
達スベシ

ノ管轄ニ属セル高社ハ此局ノ次官<sup>「ウ」ヂ「ン」ス「ウ」ヨ</sup>ヨリ其命令ヲ發  
スルモノナリ

第三十三條 此條例ヲ遵奉スル高社其社員録ヲ掩閉シ之レガ  
檢閲等ヲ停止セントスルハ其記錄所ノ地方ニ行ハル、新  
聞紙中稟告ノ部ニ於テ其旨ヲ載セ以テ之ヲ報知スルニ於テ  
ハ其舉ニ從事スルヲ得ベシ尤モ右停止ノ間ハ一箇年ニ付  
キ三十日ノ日數ヲ出ヅルヲ得ズ

第三十四條 商社ノ其資本ヲ株式ニ分割シタルモノ<sup>其「五」株「式」</sup>  
ヲ變シテ「ス」ト「ク」ト爲スヤ否ヤヲ論セズ既ニ記錄ニ入りタル  
所ノ資本金額ヲ増加スルハ須カラク該議<sup>其「決」</sup>一決<sup>其「決」</sup>ノ日ヨリ十  
五日以内ニ其旨ヲ記錄官へ申達スベシ又商社ノ株式ニ分割  
シタル資本無クモノ既ニ記錄ニ入りタル後其社員ノ人數ニ  
増加スルハ該議<sup>其「決」</sup>一決<sup>其「決」</sup>ノ日又ハ其事現ニ有リシ日ヨリ十五

議  
決



社負録ノ筆  
削ヲ誤リ又  
ハ其記録ヲ  
緩慢スルニ付  
テノ改正修治  
療護

日以内共次第ヲ記録官へ申達スベシ而シテ記録官ニ於テハ此  
申達ヲ得レバ直チニ斯ル資本又ハ社員増加ノ事ヲ書留ムベ  
シ但シ若シ此期限内ニ於テ斯ル申達ヲ怠慢スルハ該社  
ノ頭取及ヒ差配人等故テ之ヲ怠慢セシメ又ハ之ヲ見逃ス  
コアラバ是又前同様ノ罰金タルベシ

第三十五條 此條例ヲ遵奉スル商社其社負録ニ何人カ故無ク  
シテ姓名ヲ記入セラレ又ハ同斷除名セラレ又或ハ脱社記載  
ヲ故無ク延引シタル等ノ事アリテ之レガ爲メ迷惑ヲ受ケル  
ルモノハ社外社中ノ人又ハ會社ヲ論セズ何レモ之ヲ英愛兩國  
ニテ記録ニ入りタル商社ナレバ(バイ、モー、シ、シ)願一種ノ請、手價  
英國上等裁判所(ロンドン、マ、チ、エ、ス、チ、ロ、フ、ッ、ア、ポ、ヤ、リ、ヤ)へ左無クバ  
イ、ア、プ、リ、ケ、ー、レ、シ、シ、願一種ノ請、手價  
ニテ裁判所ノ判理官又ハ錫坑局

管轄ノ商社ナレバ(錫坑局ノ次官へ又或ハ(蘇國ニテ記録ニ入  
リタル商社ナレバ)バイ、ソ、ン、マ、レ、イ、パ、チ、シ、シ)願一種ノ請、手價  
請願ニテ(ロンドン、オ、フ、セ、シ、シ)願一種ノ請、手價  
裁ニラモ苟モ諸裁判所ノ指圖ニ基キ(其他何レノ訴訟  
負録改正スベキ旨ノ指令ヲ受ルコトヲ得ベシ而シテ右諸裁判所  
ニ於テハ此願請アルニ付キ(前斷許人願主ヨリ納ムベキ訴訟  
入費ノ有無ニ拘ハラズ)一切之ヲ拒ムカ又ハ(此事ヲ裁判ニ付  
シテ該社ヲシテ是等ノ訟費其他ト斯ル迷惑ヲ受ケタルモノ  
へノ償金トヲ拂ハシムルコトアルベシ)右諸裁判所此箇條ヲ  
奉シテ凡百裁判處分ニ從事スルニハ假令ト斯ル爭訟相手ニ  
人以上ナル社員ノ間ニ起ルニセヨ又ハ社員ト商社トノ間ニ  
起ルニセヨ元來其黨輩ノ姓名ハ此社負録ニ載セラル、ベキ

裁  
省







モノヲ助力出金シテ該社ノ消債費用ニ充ツベシ但シ其負  
責ハ左ノ適宜制限ニ準據スベシ

第一 既<sup>在時</sup>脱社<sup>社員</sup>モ其脱社若シ鎖店<sup>取掛</sup>ノ日ヨ  
リ滿一年以前ニ在ルキハ此人該社ノ消債費用ニ向テ

助力出金スルノ責勿カルベシ

第二 既<sup>在時</sup>脱社<sup>社員</sup>モ其脱社ノ後該社ニテ取組ミタ  
ル所ノ負債ニ於テハ此人該社ノ消債費用ニ向テ助力

出金スルノ責勿カルベシ

第三 既<sup>在時</sup>脱社<sup>社員</sup>モ其現在社負ノ(此條例ニ遵ヒ要  
求セラル、所ノ)出金ヲ辨シ魚ルノ事實明白ニ裁判所

ヘ顯<sup>明白</sup>ハル、ニ非ザルノ外ハ更ニ該社ノ消債費用ニ向  
テ助力出金スルノ責勿カルベシ

第四 株式有限高社ニ於テハ現在社負ト既<sup>在時</sup>脱社<sup>社員</sup>モノ

トヲ論ゼズ株式<sup>入金</sup>未濟高(若シ之レ否ラバ)ヨリ外  
ハ更ニ助力出金ノ責勿カルベシ

第五 保證有限高社ニ於テハ該社負<sup>其結社證書ニ於テ</sup>

約束セシ金高ノ外更ニ助力出金ノ責勿カルベシ

第六 凡ソ請負證書又ハ其他ノ契約書附ニテ各社員其

負責ヲ限り銘々之レニ任ズルモノトスルカ又ハ獨リ

該社ノ積金ノミヲ以テ其負責ニ任ズルモノトスルカ  
何レニセヨ是等ノ書附ニ記載アリシモノヲ此條例ニ

於テ妨害スル等ノ事ハ曾テ之レ無キモノトス

第七 凡ソ高社ヨリ其社員タルモノニ分配スベキ金額

該社<sup>獲得</sup>所ノ利益中ヨリカ又ハ其他ノ利源ヨリカニ  
テハ該社此社負<sup>ハ見做サ</sup>ルガ故ニ假令ヒ

斯ル社員ト社外ナル債主トノ間ニ其請取方ヲ爭フ







ズシテ前條通り其社印ヲ公掲セザルニ於テハ該社之ガ為ノ  
 五磅ニ踰ヘサル罰金ヲ納メタル上又其社印ヲ公掲セザルノ  
 間一日ニ付キ前同様ノ罰金タルベシ且ツ其頭取及ヒ差配人  
 タルモノ故ラニ之ヲ為サシメ又ハ之ヲ見逃スラバ是又  
 前同様ノ罰金タルベシ若又頭取差配人又ハ該社ノ屬負又或  
 ハ誰人ニテモ該社ニ關係アルモノ社印ノ上條通り彫刺セザ  
 ルモノヲ用ヒ又ハ之ヲ用ヒシムルカ或ハ此規定ニ悖リタル  
 社號ヲ以テ報告稟告其他凡百ノ公知ヲ發シ又ハ之ヲ發セシ  
 ムルカ或ハ此規定ニ悖リテ該社ノ為メ其為換手形約束手形  
 裏書チエッキ及ヒ金銀ノ命令物品ノ注文等ニ社號ヲ手記シ又  
 ハ之ヲ手記セシメ又或ハ該社ノ「日ル、オフ、パースル、イン、ボイ  
 ス」受取書附「レタ、オフ、クレヂット」等ヲ仕出シ又ハ之ヲ仕出サ  
 シムル「アル」ニ於テハ是等諸人ハ五十磅ノ罰金ヲ納メタル上

前斷為換手形約束手形「チエッキ」及ヒ金銀ノ命令物品ノ注文等  
 ヲ所持スル人々ニ對シテ右頭取差配人其他身親カラ其責ニ任  
 シ該社若シ是等金額ノ仕拂ヲ為サバ「ル」中ハ右等諸人其自費  
 ヲ以テ之ヲ辨償スルモノトスベシ

第四十三條 此條例ヲ遵奉スル有限高社ハ其所有物ニ於テ格  
 別ニ關係アル質入書入「質入」以下原書「モ」并委託「チヤ」等ノ事ヲ  
 記載セル帳簿ヲ備置キ右等ノ舉アル毎トニ其始末并物品ノ負  
 數及ヒ「モーゲイヂ」預入書入物品又ハ受領人物品ノ委託ヲ  
 ノ姓名ヲ簡略ニ登記スベシ○若シ前斷記載無クシテ該社ノ  
 所有物ヲ質入書入致シ又ハ之ヲ委託スルノ事アルニ當テ該  
 社ノ頭取差配人其他屬負タルモノ故ラニ之ヲ為サシメ又ハ  
 之ヲ見逃スラバ五十磅ニ踰ヘサル罰金ヲ納ムベシ○  
 此箇條ニ於テ斯ク「要」セル帳簿ハ該社ノ債主又ハ其社員ノ



或ハ  
高社ヲ依テハ  
見出ノ書式ニ  
附テ公掲スベ  
レ

望ミニ任セ相當ノ時間之レガ檢閲ヲ許ルスベシ若シ之ヲ拒  
ミシハ其之ヲ拒ミシ役員ハ勿論其頭取差配人故ラニ之ヲ  
拒マシメ又ハ之ヲ見逃スコトアラバ又五磅ニ踰ヘガル罰金ヲ  
納ムベシ而シテ該社ハ更ニ之ヲ拒ミシ間一日ニ付キニ磅ニ踰  
ガル罰金タルベシ且又高社ノ英愛兩國ニテ記録ニ入りタル  
モノナレバ前斷罰金ヲ納メタル上裁判所出頭ノ判理官ヨリ命  
令ヲ下シ急ニ此帳簿ヲ検査セシムルコトアルベシ但シ錫玩局  
ノ管轄ニ屬セル高社ハ此局ノ次官ヨリ其命令ヲ發スルモノ  
トス

第四十四條 此條例ヲ遵奉スルリミラット有限バンキングコム  
ベニ。銀行ノ事業ヲ管キム請員會社及ヒテホシット。質ヲ取リ  
金ヲ為ス。プロダクセント。ト。以上二者疾病。患難。死亡等  
ハガレモノ。諸人相互ニ救助スルノ謂ニシテ是等商社大抵  
職人傭夫等ノ間ニ行ハルモノナリ

記録官へ送達  
スベキ頭取差配  
人ノ名簿

等ノ諸會社ハ其營業ヲ始ムル以前并其營業中毎年第二月第  
八月ノ第一月曜日ニ於テ第一見出印目錄ノ書式ニ遵ヒ又  
ハ右ニ類似シタル時々變換ノ事狀ニ應酬スベキモノニ準シ  
一箇ノ書附ヲ制定シ陸テ其屬ヲ該社ノ記録本店并所在支店  
ノ見易キ場所ニ於テ一通ツ、掲示シ置クベシ若シ該社此箇  
條ニ背キ之ヲ怠慢スルハ其怠慢ノ間一日ニ付キ五磅  
ニ踰ヘガル罰金ヲ納ムベシ且ツ其頭取差配人故ラニ之ヲ怠  
慢セシメ又ハ之ヲ見逃スコトアラバ是又前同様ノ罰金タルベ  
シ○此箇條ニ掲載セル諸高社ノ社員并債主タルモノハ各々  
六ペンス以下ノ代價ニテ前斷書附一通ツ、ヲ得ベキノ権理  
アルベシ

第四十五條 此條例ヲ遵奉スル高社ノ株式ニ分割シタル資本  
無キモノハ其頭取又ハ差配人タルモノ、姓名。住所。職業等ヲ



頭取差配人ノ  
名簿ヲ備ヘザ  
ル高社ノ罰金  
件

記載シタル名簿ヲ其記録所ニ備置キ隨テ其馬ヲ合本高社ノ  
記録後所ニ送達スルニ且ツ是等頭取差配人ノ變換アル片ハ  
時々其趣ヲ同後所ヘ申達スベシ

第四十六條 前同條ノ高社上條ノ規則ヲ守ラズシテ其頭取差  
配人ノ名簿ヲ備フルヲ又ハ其馬ヲ記録後所ニ送達スルヲ又  
或ハ頭取差配人ノ變換ヲ申達スルヲ怠慢スルニ於テハ該  
社怠慢ノ間一日ニ付キ五磅ニ踰ヘザル罰金ヲ納ムベシ且ツ  
其頭取差配人故ラニ之ヲ為サシメ又ハ之ヲ見逃スヲアラバ  
是又前同様ノ罰金タルベシ

約束手形弁  
為換手形

第四十七條 此條例ヲ遵奉スル高社ノ約束手形又ハ為換手形  
苟モ該社ノ名簿ヲ以テ之ヲ振出し又ハ之ヲ受取り又或ハ之  
レニ裏書シタルモノ、如キハ假令ヒ右等ノ處分何人ノ手ニ  
出ヅルトモ其人等該社ヨリ其命任ヲ受ケタルモノナルニ

社員七人以下ニ  
テ營業スルノ  
禁

於テハ一切之ヲ以テ該社ノ為メニ處分セシモノト見做スベ  
シ

第四十八條 此條例ヲ遵奉スル高社若シ其社員ノ人數七人以  
下ニ減少シタル後六箇月ノ間猶ホ右丈ケノ人負ニテ營業セシ  
アリテ該社ノ人右六箇月間以後猶ホ依然社員トナリ現ニ  
右減少人負ヲ以テ營業セシヲ目撃熟知シタルニ於テハ該  
社ノ負債全分凡ソ此時間ニ於テ取組ミタル所ノモノハ是非  
トモ是等社員ニテ之ヲ擔當返辨スベシ且ツ此事ニ付テノ訴  
訟等起ルニ於テハ是又是等諸人ニテ之ヲ引請ケ自餘社員ハ  
毫モ連及セザルベシ

○社員保護ニ付テノ條款  
クシヨクシヨクオフメンバル  
テ

第四十九條 此條例ヲ遵奉スル高社ノ總會ハ毎年  
少ナクトモ一度ツ之ヲ執行フベシ

商社總會

職  
當



格段決議ヲ以テ  
規則ヲ變通改正  
スルノ權力

格段決議ノ  
名義體裁

第五十條

此條例ヲ遵奉シテ創立シタル商社ハ此條例ノ箇條  
ト結社證書ニ記載セラルル規約條トニ準據シ時々社負ノ總會ニ  
於テ次條ニ記載セル方法ヲ以テ執行ヒシ格段決議ニ因リ以下高  
社ノ規則即チ結社條款ニ記載シタルモノ又ハ第一見出①印  
目錄中ニ存在セル然ルベキ目錄該社ノ採用ニ堪ヘタル所ノ  
モノ、於テ其全部又ハ若干部ヲ改正折衷シ及ヒ新タニ之ヲ  
増補スルコトヲ得ベシ而シテ斯ク格段決議ヲ以テ定メタル所ノ  
商社規則ハ即チ初發結社條款中ニ掲置キタル同様法ニ悞ヒ  
ルモノト見做スベシ且シ爾後同様ノ格段決議ヲ以テ右改  
正折衷等ニ從事シタルモノモ亦同一タルベシ  
第五十一條 凡ソ決議此條例ヲ遵奉スル商社左ノ順序ヲ踏ミ  
施行シタルモノハ都テ之ヲ格段ト見做スベシ即チ社中評決  
ニベキ事件アリシハレノ總會ニ於テスルモ爾時社員ノ(社則

從

其本人又ハ該社ノ規則上ニ於テ代人ノ出席ヲ許スル  
ハ代人出席シテ發言投票スベキ権理アルモノ、總員四分ノ  
三以上ニテ從事セル發言投票四分ノ三以上ニテ多數ヲ以テ最初一旦之ヲ此  
決議ニ行フベキコトヲ議定シ隨テ之レガ報告ヲ出シ斯ル旨趣  
ヲ詳記シ右決議濟三ノ總會日ヨリ十四日以外一箇月以内ノ  
時日ヲ隔テ、更ニ執行フ所ノ第二總會ニ於テ爾時社員ノ(社  
則ニ從ヒ其本人又ハ代人ノ出席シテ發言投票スベキ権理フ  
ルモノ、從事セル發言投票前同條多數ヲ以テ之ヲ確定スルコト是  
レナリ○凡ソ總會此箇條ニ掲載スル所ノモノニ於テハ(更ニ  
一種ノ投票法ルボトヲ少ナクモ社負五名以上ニテ要請スル片  
ニ非ザルノ外ハ三條規第四十二條四常ニ議長ノ演說即チ決  
議濟ニト云爾語ニ書留メ之ヲ以テ其事ノ決定セル正證據據  
ト見做シ別ニ可否又ハ同意不同意ナル發言投票ノ多寡ヲ表



總會ニ付キ  
規則ニ付キ  
、變則

記シタル明細書等ヲ要セザルベシ○凡ソ總會此箇條ノ旨趣  
ニ於テハ其商社規則ニ載セタル方法ヲ以テ之レガ報告ヲ為  
シ及ヒ同條ノ方法ニテ之ヲ招集シタル中ハ何レモ正シキ報  
告又ハ總會ト見做スベシ○若シ一種ノ投票法ヲ要請シタル  
中ニ於テ此箇條ヲ奉シテ其多數ヲ計算スルニハ其社負兼テ  
社則ニ於テ許與セザレタル所ノ發言投票ノ多寡ヲ以テスル  
トトス

第五十二條 凡ソ發言投票ニ付テ一定ノ規則無キ中ハ各社員  
各々一箇ツ、發言投票スベシ又總會ヲ招集スルニ付キ一定  
ノ規則無キ中ハ第一見出①印目錄中ニ掲ケタル方法ニ照準  
シ各社員ヘ日數七日ノ間書付ニテ之レガ報告ヲ為シ以テ之  
ヲ招集スベシ又總會ヲ招集スベキ人物ニ付テ一定ノ規則無  
キ中ハ社員ノ内ノ數五名ニテ之ヲ招集シテ可ナルベシ又總

格段決議ノ記録

會ノ議長タルベキモノニ付テ一定ノ規則無キ中ハ出席シタ  
ル社員ノ内ヨリ其人ヲ撰舉シテ可ナルベシ

第五十三條 此條例ヲ遵奉スル商社ニ於テ議定濟ニナル格段  
決議ノ馬ハ之ヲ刊行シ其議定濟ニノ日ヨリ日數十五日ノ間  
合本商社ノ記録後所ヘ送達シ以テ其書留メヲ受クベシ○若  
シ該社右馬ヲ此期日ニ送達スルヲ急慢スルニ於テハ右ノ  
日限以後即チ十六日目ヨリ急慢セシ間一日ニ付キ二磅ニ踰  
ハザル罰金ヲ納ムベシ且ツ其頭取差配人故ラニ之ヲ為サレ  
ノ又ハ之ヲ見逃スラバ是又前同様ノ罰金タルベシ

第五十四條 凡ソ結社條款ヲ以テ記録ニ入りタルモノハ其現  
ニ行ハル、格段決議ノ馬ヲ右議定以後ニ發行スル所ノ條  
款各通ヘ附録編入スベシ若又曾テ結社條款ヲ以テ記録ニ入  
ラザリシモノ、格段決議ハ更ニ其馬ヲ刊行シ社員ノ望ニニ

格段決議ノ馬

大 裁 省







テ取上ケラルベシ

アル全ク條理アリテ更ニ是等諸人ノ惡意ヨリ生ゼガル旨ヲ了知スル為メ然ルベキ證據ヲ指出サシメタル上ニテ之ヲ取極上  
ル為メ其検査官ヲ命任スル以前ニ於テ豫メ此請願人ヲシテ之レガ保固物<sup>セキ</sup>ヲ指出サシムルコトアルベシ

諸簿冊ノ検査

第五十八條 右検査ノ時ニ當テハ該社ノ總役員及ヒ其管事者<sup>エ</sup>ニセタルモノハ須カラク其守管保有ノ諸簿冊并證書類ヲ舉ケ悉皆此検査官ノ檢閲ニ供スルヲ以テ其職分ト為スベシ而シテ此検査官ハ盟誓ノ上<sup>此</sup>此社ノ營業事務上ニ付キ役員其他ヲ檢察詰問シ併セテ然ルヘキ盟誓ヲ施行スルコトアルベシ○若シ或ル役員又ハ管事者タルモノ其諸簿冊并證書類ヲ差出スコト拒ミ又ハ營業上ノ詰問ニ對フルコトヲ厭フ等ノ動作アルニ於テハ其人ハ犯<sup>ス</sup>テ<sup>テ</sup>ノ一事毎犯五磅ニ踰ハサル罰金ヲ納

検査ノ結局

ムベシ

第五十九條 右検査終レバ検査官ハ其意見ヲ「ボード、オフ、ツレツ」ニ申達スベシ○此申達書ハ之ヲ筆記スルカ又ハ之ヲ刊行スルカ到底「ボード、オフ、ツレツ」<sup>指</sup>指圖次第タルベシ而シテ其一通ハ「ボード、オフ、ツレツ」ヨリ該社ノ本店ヘ送達シ今一通ハ検査ヲ請願セシ社員ノ望ミニ任セ之ヲ其人ヘ渡スベシ○此検査ノ総入費ハ斯ル検査ヲ請願セシ社員ヨリ之ヲ償辨スベシ但シ「ボード、オフ、ツレツ」ヨリ該社ノ消債費用ヲ以テ之ヲ拂フベキ旨<sup>即チ</sup>「ボード、オフ、ツレツ」ノ權内ニ在ル所ノ指令アル所ハ此限ニ在ラス

検査ノ役ヲ命<sup>任</sup>スル所ノ社ノ權

第六十條 此條例ヲ遵奉スル高社ハ其格段決議ヲ以テ社中ヨリ検査役ヲ命<sup>任</sup>該社ノ營業事務ヲ検査セシムルコトヲ得ベシ○此検査役ハ其權カヲ有シ又ハ職掌ヲ行フコト<sup>恰モ</sup>「ボード、オフ、ツレツ」ヨリ命<sup>任</sup>所ノ検査官ト同一ナルベシ但シ検査ニ

大蔵省



證據タルベキ  
検査役ノ書上

付テノ意見ハ必<sup>ス</sup>モ之ヲホ<sup>ド</sup>、オ<sup>フ</sup>ツレ<sup>ド</sup>ニ申達スルヲ  
要セズ到底該<sup>社</sup>ノ總會ニ於テ議定指令<sup>スル</sup>所ノ旨趣ヲ奉<sup>シ</sup>  
以テ然ルベキ復命等ニ從事スベシ且ツ該<sup>社</sup>ノ役員并其管事  
者タルモノ諸簿冊并證書類ヲ此検査役へ差出ス<sup>ト</sup>拒<sup>ミ</sup>又  
ハ其詰問ニ對フル<sup>ト</sup>厭<sup>フ</sup>等ノ動作アルニ於テハ前條同様  
ノ罰金<sup>即チ</sup>ホ<sup>ド</sup>、オ<sup>フ</sup>ツレ<sup>ド</sup>ヨリ命任セラレタル検査官ニ  
納ムベキモノヲ納ムベシ

第六十一條 此條例ヲ遵奉スル高社其營業事務検査ニ付キ命  
任シタル検査役ノ意見書上ニ其社印ヲ鈐シ以テ之ヲ保證シ  
タルモノハ即チ此検査役意見ノ證據トシテ凡ソ事件ノ之レ  
一記入セシモノハ公裁上ニ於テ一々採用セラル、モノタル  
ベシ

○報知ノ事

高社ニ於ケル報  
知ノ用辨

第六十二條 凡ソ高社へノ用辨ヲ為スベキ呼出狀<sup>ハ</sup>モ報告書<sup>ニ</sup>  
一<sup>ノ</sup>命令書<sup>ニ</sup>其他ノ文書ハ之ヲ貸錢拂濟<sup>ニ</sup>ノ書翰ニ致<sup>ス</sup>

書翰ヲ以テ報  
知ニ從事スルノ  
規則

第六十三條 凡ソ郵便ニテ高社ニ送達セントスル文書ハ其之  
レニ記載セル時刻<sup>若シ之レ有ラバ</sup>ヲ商量シ郵便ノ通例到着  
シテ渡スベキ刻限ニ於テ之ヲ此郵便ニ付托ス、  
ベシ而<sup>シテ</sup>右等文書ノ送達如何ヲ證據立ツルニハ斯ル文書ハ  
果シテ相當ノ名宛等ニ從事シタルカ<sup>又</sup>貸錢拂濟ニ致シ相  
違無ク郵便局ニ付托タルカヲ證據立テ、足ルベシ

第六十四條 凡ソ該<sup>社</sup>ノ承認保證ヲ要スベキ呼出狀<sup>報告書</sup>命  
令書并其他ノ處分狀ニハ該<sup>社</sup>ノ頭取書記官又ハ其他ノ役員  
凡ソ該<sup>社</sup>ノ委任ヲ受ケタルモノ之レガ手記姓名ニ從事シ必  
シモ社印ヲ鈐スル<sup>ト</sup>要セザルベシ而<sup>シテ</sup>右呼出狀其他ハ之

該<sup>社</sup>ノ報知書  
頭ニ於ケル取  
引保證

シモ社印ヲ鈐スル<sup>ト</sup>要セザルベシ而<sup>シテ</sup>右呼出狀其他ハ之

大 裁 省



ヲ筆記スルカ又ハ之ヲ判行スルカ又或ハ筆記判行相半スル  
トモ更ニ妨ケ無カルトスベシ

○公裁リリーガルプロ

第六十五條 此條例ニ於テ規定セル罰金ヲ以テ處斷スベキ罪  
料ニ付テハ事簡易ニ從ヒ英國ニ於テハ「アン、アクト、ツ、フ、シ  
リテート、ゼ、ポ、フォー、マン、ス、オ、フ、ゼ、ヂ、エ、チ、ス、オ、フ、ヂ、ョ、ス、チ、シ  
ス、オ、フ、ゼ、ピ、ス、ア、ウ、ト、オ、フ、ゼ、シ、ョ、ン、ス、ウ、井、ズ、イ、ン、イ、ン、ゲ、ラ、ン  
ド、エ、ン、ド、ウ、エ、ール、ス、ウ、井、ッ、ス、レ、ス、ペ、ク、ト、ツ、リ、マ、レ、イ、コ、ン、ヂ、ク  
シ、ョ、ン、ス、エ、ン、ド、オ、ル、ダ、ル、ス」ト題セル英國女王「ヂ、ク、ト、リ、ヤ、陛、下」  
ノ代第十一年十二年ノ議院集會ニ於テ制定セル第四十三號  
ノ條例及ヒ其改正條例ノ旨趣方法ニ準據シ裁判官「ヂ、ク、ス、チ、ニ  
人、以、上、ノ、出、頭」ニテ之ヲ處置シ蘇國ニ於テハ「アン、アクト、ツ、リ、  
ア、メ、ン、ド、エ、ン、ド、シ、ソ、リ、テ、ト、ゼ、ア、ク、ツ、ス、レ、ハ、リ、チ、ン、グ、マ

ト、キ、ン、ト、シ、ッ、ア、ピ、ン、ダ、ト、題セル英國女王「ヂ、ク、ト、リ、ヤ、陛、下」ノ代  
第十七年十八年ノ議院集會ニ於テ制定セル條例及ヒ其改正  
條例即チ蘇國ノ罪科從前ノ條例ニ背戾シテ且ツ是迄記載無  
カリシ重罪「フェロ輕罪「トリスノ罪科ヲ加載シタル所ノ部分ノ  
旨趣方法ニ準據シ二人以上ノ裁判官又ハ其郡官「ブリ、ノ、出、頭  
ニテ之ヲ處置シ愛國ニ於テハ「アン、アクト、ツ、リ、コ、ン、ソ、リ、テ、  
ト、エ、ン、ド、ア、メ、ン、ド、ゼ、ア、ク、ツ、ス、レ、ギ、ユ、レ、イ、チ、レ、グ、ゼ、ア、ロ、シ、  
シ、グ、ス、オ、フ、ベ、ッ、テ、イ、セ、シ、ョ、ン、ス、エ、ン、ド、ゼ、ヂ、ト、チ、ス、オ、フ、ヂ、ョ、ス、  
シ、ス、オ、フ、ゼ、ピ、ス、ア、ウ、ト、オ、フ、ク、ト、ル、セ、シ、ョ、ン、ス、イ、ン、ア、ヤ、ラ  
ンド」ト題セル英國女王「ヂ、ク、ト、リ、ヤ、陛、下」ノ代第十四年十五年ノ  
議院集會ニ於テ制定セル條例及ヒ其改正條例ノ旨趣方法ニ  
準據シ之ヲ處置スル「アル、ベ、シ

第六十六條 凡ソ裁判官又ハ郡官タルモノ、此條例ニ於テ規定

大 裁 省







三十五條ヲ參觀スルニ下ノ并コモンモシ方ノ裁判所ト同  
一ノ裁判ヲ爲シ及ヒ権力ヲ有スベシ是レ即チ同局裁判所ノ  
オンインコーポレートッドコムベニ一社ノ又一種別ノ商  
ケル公立商社ノ反對ニシテ蓋シ如此キ高社ニ於ケル從來ノ  
其創立大抵此條例發行以前ニ係ルモ此高社ニ於ケル從來ノ  
社業并スタチュート從國一議院ニ於テ制定施行セルモ事  
リニ因テ固有スル所ノモノタリト雖モ其此裁判并権力ヲ施  
用スルハ可成丈ケ此條例ノ條件并該社ノ結構凡ソ此條例ニ  
於テ掲載要求セル所ノ旨趣ニ悖戾スルヲ無キヲ要スベシ而  
ノ右裁判所ニ委任セラレタル公裁上ニ付キ猶又其職掌ヲ擴  
張セシムル爲メ凡ソ同局ヨリ施行セル所ノ諸取扱ヲ始メ其  
諸商社(記録)ニ入りタルモノト否ヤトヲ問ハズ又ハ其社負  
又或ハ合力者及ヒ其役員管事者頭取差配人給事小使等ハ付  
與シタル所ノ命令規則并同斷要求スル所ノ催促通知捕縛呼

出其他一切ノ物件書類ハ定メテ右裁判所ノ相當職務ト爲シ  
同局次官ヨリ別段云々ノ指令無クシテ英國中何レノ部分ニ  
於テモ公行通用スルモノトスベシ若又右裁判所ヨリ別段云  
々ノ指令ヲ發シ其相當ナリトスル程限約定ヲ立ツルニ於テ  
ハ是等物件書類更ニ合衆王國并愛國ノ闔境及ヒ沿海諸島其  
他英領屬地何レノ場所ニテモ同様公行通用スルヲ得ヘシ  
又右裁判所ニ於テ公裁上制定施行シタル所ノ裁許狀<sup>レテ</sup>命  
令書<sup>レテ</sup>處斷狀<sup>レテ</sup>ハ同局ノ管轄内外ヲ問ハズ其行ハ  
一都テ當時同局ノ是等事物ニ付キ法律上與ヘラレタル所  
ノモノ如クナルベシ又右裁判所ノ印章并其書記官ノ手記  
姓名ハ英國中何レノ裁判所又ハ判理官<sup>レテ</sup>ニ於テ常ニ之ヲ  
承認記憶シ自餘別段ノ證據等ヲ要セザルベシ且又右裁判所  
ノ記録官并副記録官タルモノ其沒收物品ノ糶賣アルニ付テ



或ル有限高  
社ヨリ訴出  
テタル公事  
入費ニ付テ  
ノ箇條

社負相手ニ  
公裁ヲ請フ

モノ、申牒

「ホド、オフ、ツ  
レド、ハ見出中  
ノ書式ヲ改正  
スルヲアルベシ

ハ專ラ此裁判所ノ裁許状又ハ命令書ヲ因テ之レニ從事シ更  
ニ別段ノ免許免許原書ヲイセン酒店劇場ノ間業ヨリ糶賣其  
他ニ至ル迄大抵此免ヲ要セズ又ハ出税ノ煩無キヲ猶ホコ  
ト、オフ、チャンセルイ被國上等裁ノ判理官斯ル處分アルニ付キ  
此條例ニ於テ與ヘタル所ノ如クナルベシ

第六十九條

有限高社原告人トナリテ公裁ヲ乞フキ若シ其被

告人ニ種々信用スベキ證據アリテ多分勝公事ニ近カク隨テ  
此公裁入費ハ商社ヨリ之ヲ辨ズベキニ此社ノ消債資用充分  
ナラズシテ之ヲ辨ズルニ足ラサルヲ判然タルニ於テハ此裁  
判ニ従事スル判理官タルモノハ先ツ商社へ此入費償辨ヲ慥力  
一スル為メ然ルベキ相當等ヲ差出サシメ而メ之ヲ差出サバ  
ル間ハ更ニ其裁判ヲ見合スルヲアルベシ

第七十條

社員タルモノ、立場ニ於テ拂フベキ金額恢復ニ付

キ高社其社負ヲ相手ニ取り公裁ヲ乞フニ於テハ別段詳細ノ  
上申ニ及バズハ被告ハ其社ノ社負ニシテ此人此社ニ對シ  
吟賦金又ハ其他ノ金額負債アルニ付キ斯ル出訴ニ及ヒタル  
旨ヲ上申シテ足ルモノトスベシ

○書式改正「オフトレレ  
シ、オフトレレシ」

第七十一條

第二見出ニ掲ケル所ノ書式ト又時ノ都合ニ依リ

變通シタル所ノ類似書式ハ都テ之ヲ斯ル書式ニ關係シタル  
諸件ニ用ユルモノタルベシ而メ「ボード、オフ、ツレド」ハ第一見  
出ニ在ル書式并目錄又ハ第二見出ノ書式ヲ時々改正増補ス  
ルヲアルベシ即チ此見出中掲載セル記録官ハ納ムベキ記録  
料ノ高ハ依然舊ニ仍リ之ヲ増加セザルカ又ハ第二見出中ノ  
書式箇條ニ於テ其必要ナリトスルモノヲ増補スルカ何レモ  
便宜次第タルベシ前斷ノ書式又ハ目錄ヲ斯ク改正増補シタ

七 裁 省



事ヲ仲人裁判ニ付スル商社ノ権力

ルキハ其時々「ロンドン」紙ノ名ニシテ凡ソ彼布セルモノニ因テ之ヲ公布スベシ然ル上ハ此書式又ハ目録ノ行ハル、ト恰モ此條例ノ見出中ニ於テ之ヲ掲載セシモノト同一ナルベシ併シ「ボード」オフ、ツレドニ於テ第一見出印目録ヲ改正シ又ハ其中ノ若干箇條ヲ廢止スルトモ凡ソ商社ノ右改正廢止ノ日ヨリ以前ニ於テ記録ニ入りタルモノハ全ク之レニ關係無カルモノトスベシ

○仲人裁判「ア」ビツ

第七十二條 此條例ヲ遵奉スル商社ハ「井ルウエイ、コムペニー、ア」ビツ、レ「ジョン、アクト、エイチ」ン、ホンドレット、ヒフテ「ナ」ン即チ千八百五十九年鐵道ニ從ヒ其社印ヲ鈴シタル書附ヲ以テ仲人裁判ノ舉ニ付スル「ト」ヲ同意シ現時將來ノ差別無ク該社ト自餘商社又ハ他ノ人トノ間ニ起ル所ノ爭論ニ公事ヲ

女工「ガ」井「ク」トリ  
第七十九號  
條例中第二十  
二條二十三條  
ノ適用

處分裁決「ラ」ル「ト」ヲ得ズレ而メ此仲人裁判ニ左祖スル商社ハ相當ノ仲人ヲ賴ミ之「レ」テ該社又ハ其頭取差配人等ニ代リ公裁上又ハ商社相互ニ處分裁決「ス」ベキ事件ニ於ケル相當ノ取扱ヲ為スベキ権力ヲ有セシムル「ト」ヲ得ベシ

第七十三條

「井ルウエイ、コムペニー、ア」ビツ、レ「ジョン、アクト、エイチ」ン、ホンドレット、ヒフテ「ナ」ン「レ」條例ハ悉皆此條例ヲ遵奉スル商社ノ自餘商社又ハ他ノ人ニ於ケル仲人裁判ノ事ニ適用スル「ト」ヲ得ルモノト心得ベシ而メ此條件中ニ商社ト云フ語ハ即チ凡ソ商社ノ斯ク此條例ニ於テ爭論其他ヲ仲人裁判ニ付スル「ト」ヲ許與セラレタルモノヲ併セテ此中ニ在ル「ト」心得ベシ



英國會社類編卷之二終

大  
清  
書

完



